

議会ウォッチ 52号

2018年7月



ココに注目!

豪雨災害を乗り越えて《東峰見聞録》 P2

補正予算 ここに注目!《トピックス》 P8

ここが聞きたい!《一般質問》 P11



7月5日発災直後どちらに？
その日は早めに職場を出て、途中の棚田親水公園駐車場にて情報収集していたところ、役場から安否確認の電話が入り、「近所の人が見えていて、あなたの家が流されたそうです」との連絡を受けました。幸いにも家族の無事は確認できていました。



被災直後の屋椎

7月5日発災直後どちらに？
その日は早めに職場を出て、途中の棚田親水公園駐車場にて情報収集していたところ、役場から安否確認の電話が入り、「近所の人が見えていて、あなたの家が流されたそうです」との連絡を受けました。幸いにも家族の無事は確認できていました。

その後自宅の確認に行けたのはいつでしたか？

家は全部流されたと聞き、そこで何か吹っ切れました。何をしていたかわからないが、何かしないといけない。消防団と道路の片付けや栗松公民館からの水配り、自衛隊等の機材運びの道案内、夜警などをしていました。発災から1週間後によろやく自宅を見に行くことができました。残ったのは、発災当時は会社に行っていたので制服と弁当箱、水筒、そして車だけでした。

仮設住宅での生活にスムーズに移行できましたか？

ボランティアの方には、炎天下の中作業をしていただきました。終わると笑顔で「お疲れ様でした！」と帰って行かれる姿

を見て自分が逆の立場だったらできるだろうかと。自分がやれるべきことをやろうと強く思ったのはそれからでした。

当初は住宅の方々には様々な地区から来られているのであまり顔を合わせたこともなくお互いのことを知りませんでした。そんな中、エフコープの支援により夕食会が開かれることとなり、まずは一軒一軒呼びかけて回りました。最初は皆さん黙々と食べられていましたが、続けていくうちにご飯を食べながら、「あの時は大変やったね」とか少しずつ話が出るようになってきました。自分も最初に伝えたいことだけ話して、あとはみなさんにお任せしていました。

1年経過して感じることは？

集会所の使い方についても冗談を言いながらも前向きな話が出てきていたり、日中に至っては仕事へ、田んぼへ、畑へと、ほとんど皆さん住宅にはいません。仮設住宅の住民の皆さんに元気ができてきていると感じます。



今後の防災減災について思うことは？
気持の復興には時間が必要かと思います。最初は自宅の再建を断念していた人も建てようかと気持ちが変わってきた人もできています。(議員)

今後の防災減災について思うことは？

発災直後はすべての機能がストップし、行政ができることは限られます。ボランティアや外部支援団体と一緒に進めるやり方を考えなければと思います。避難所運営に関しても各々自主的に動いていた方も相当いたはずで、その中で良かった点、悪かった点など残していくべきではないでしょうか。火災には消防団があるように、防災においても避難所運営等を含めて組織があってもよいのではと思います。

災害を乗り越えて
被災当時と今、
地域の方々に聴く

5 鶴周辺



谷の上流がどうなるのか、ひと梅雨くらい過ぎないと家の修理にも手が付けられない。住む所がなくなっているの、山の方を気にしながら少しずつ修理を始めようと思っている。でも、まだ先の事はわからない。(30代夫婦)



6 鶴周辺



当時は作業場が土砂で埋まり、仕事が再開できるか不安だった。ボランティアの方々の支援により土砂を撤去することができ、元通りの仕事ができるようになりありがたい。クラウドファンディング※と商工会からの助成金で窯を再建することができました。(30代男性)



※主にインターネット上でプロジェクトの主旨に賛同する不特定多数の人から資金調達する仕組みとして近年登場しました。災害時には主に寄付型と呼ばれる方法で、事業の再建等に必要な資金の調達を呼び掛け、再建後に寄付金額に応じた返礼(品)を寄付者に贈る仕組み。

7 蔵貫周辺



昨年店舗に大きな被害がでましたが、皆さまに支えていただき、今では普通に生活できているのがありがたい。(40代男性)



1 屋椎周辺



本迫川(屋椎谷)の工事が始まり、これから前向きに取り組んでいく事ができます。1日も早くスリットダムが完成することが願いです。(50代男性)



2 下鶴



河川の掘削工事が始まり、ようやく希望が持てるようになりました。(60代女性)



3 仮設住宅

仮設住宅も半年以上が過ぎ、ようやく落ち着いてきた。しかし、一年後には入居期限がくるので少し不安。住居の再建は、今後の公営住宅での生活が落ち着いてからと思う。場所はやはり、元住んでいた近くが望ましい。家族と将来の事を話し合っているが、未だはっきりと決められない。(70代男性)



4 宝珠山・延田周辺



先日の村の避難訓練では地域で避難について話す機会が持てました。夜間の訓練や想定も必要ではないかと、大肥川に架かる橋を渡って訓練していた際に感じました。(60代夫婦)



議員改選後役職

本年4月実施の東峰村議会議員選挙にて改選し、5月1日の臨時会より新たな議会構成となりました。主な役職、委員構成を紹介します。議員任期は平成30年5月1日～平成34年4月30日。



議長 佐々木 紀嘉

復興の先頭に立って

村民の皆様には、平素から議会に対しご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

今回、4月の議員改選選挙後、臨時議会において議長に就任いたしました。村内外に議会を代表する立場となりました事に非常に身の引き締まる思いであり、果たすべき責任の重大さを痛感しております。

さて、私は今回の議長選挙において議員各位に二つの立候補決意を述べさせて



総務常任委員会

高倉寛視議員
副委員長
長澤貞義議員
委員長
黒川隆康議員
委員
泉守議員
佐々木紀嘉議員

いただきました。

一つは、中立、公正な議会運営を行い、秩序ある議会像を目指したいと思っております。

二つ目は、議長になって何をやるのかと言う事でございます。浅学非才の身ではありますが、全議員の先頭に立ち議会全体をまとめたい所存であります。

村政では、昨年7月の集中豪雨により大災害を受け、現在復旧・復興に全力で取り組んでいます。復旧・復興事業は始まったばかりであります。議会が村政に責任を持ち、取り組んでいく姿を目指したいと考えております。

今後とも、村民各位のご理解とご支援、ご協力を心からお願ひ申し上げ就任の挨拶いたします。



副議長 伊藤 均

早期の復旧・復興を目指します

この度の、初議会にて議員各位のご推挙により、議長に就任させていただきました。身に余る光栄と感謝申し上げますとともに、この責任の重さを痛感しております。

村民の皆様には、日ごろより村議会活動並びに村政各般にわたり、深いご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

議会運営につきましては、議長の補佐役として、公平かつ円滑な議会運営、住民から信頼される議会をめざして、鋭意努力する覚悟であります。

昨年7月の集中豪雨災害からの早期の復旧・復興を第一番に取り組んで参ります。また、地方創生の政策実現に向けて、議員相互の連携を図り、さらなる発展につながる村づくりのために、職務を全うするよう努めてまいります。

今後とも村民の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。



産業建設常任委員会

伊藤均議員
副委員長
高橋弘展議員
委員長
梶原光春議員
大蔵久徳議員
梶原伯夫議員



議会広報特別委員会

高倉寛視議員
副委員長
長澤貞義議員
委員長
高橋弘展議員
梶原光春議員
梶原伯夫議員

6月定例会 トピックス 補正予算 ここに注目!

平成30年度6月定例会は6月18日から20日までの会期で開催しました。
 工事請負契約2件、規約変更3件、補正予算2件（一般会計、特別会計）、議会規則改正1件、議会広報委員会設置1件を慎重審議し、原案どおり可決しました。また、8人の議員が一般質問を行いました。
 なお、一般会計補正予算は3億7686万3千円を追加し、総額56億5978万1千円となりました。

自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の魅力ある地域を提供できるよう、「棚田を守る活動」一連の商品開発や地域人材の育成、宿泊事業等を担う法人を設立します。法人は、竹集落や村内の団体等との連携調整を図りながら農産物の加工販売、イベント及び体験交流型宿泊（ゲストハウス）等の企画運営業務を行いながら地域で稼ぐ仕組みを構築します。



改築前のゲストハウス

棚田景観保全プロジェクト（まちひとしごと創生事業）
**ゲストハウスを中心とした
 新たな滞在型観光の仕組みづくりへ**

棚田景観保全プロジェクト 三カ年計画の主な概要

1年目(29年度12月補正2097万2千円)
 コーディネーターの招聘、滞在・体験・交流型観光の基本構想策定及びニーズ調査、法人設立のための基本構想策定、ケータリング及び物販の研修

2年目(30年度6月補正予算8470万2千円)
 農産加工販売・宿泊施設運営に係る研修、法人設立準備、滞在・体験・交流型観光の企画運営、集客イベントの企画運営、広報PR活動、岩屋キャンプ場コテージ改修整備、地域おこし協力隊の選考、ケータリング(出張レストラン)及び物販研修

3年目(31年度約8900万円予定)
 農産加工販売・宿泊施設運営に係る研修、法人設立、滞在・体験・交流型観光の企画運営、集客イベントの企画運営、広報PR活動、農産加工販売施設整備、岩屋キャンプ場コテージ改修整備、ケータリング及び物販研修

気になる 復旧工事予算 橋の架け替え工事へ一歩前進

水道管付け替え工事
1000万円
 (簡易水道特別会計)

残土処理場整備
3670万円
 (一般会計)

被災した野中橋を福岡県が撤去するに伴い、水道管路を変更し、新野中橋に付け替えるもの。(地図内A)

中尾地区他にある残土処理場の整備・拡張を行い、またその管理を行うもの。(地図内B)



橋梁架け替え
1億1800万円
 (一般会計)

災害により被災した6橋の架け替えに係る設計、及び2橋の工事費。(地図内①～⑥)



ここが聞きたい!

6月定例会 一般質問

1. 伊藤 均 議員
いぶき館を教育施設として検討できないか **11**
3. 大蔵 久徳 議員
村発注の災害工事の進捗状況は **12**
3. 黒川 隆康 議員
西鉄とJRバスの時間調整は出来ないのか **12**
4. 高橋 弘展 議員
公共施設計画の個別計画は立てられているか **13**
5. 梶原 光春 議員
日田彦山線の復旧見通しは **13**
6. 梶原 伯夫 議員
国・県道及び村道の整備管理状況は **14**
7. 高倉 寛視 議員
ゲストハウスの運営は大丈夫か **14**
8. 長澤 貞義 議員
子供達の遊具施設を設置できないか **15**

議員 いぶき館の立地場所は、東峰学園や子ども館に近く、教育現場としては良い場所にある。使用目的を変更することなく、教育課を移転させたらどうか。

議員 いぶき館の入館者は少なく、指定管理料の支払い負担が大きいため、別の利用が検討できないか。
村長 国土交通省の補助事業であるので、償還期限を過ぎないと目的外使用になるので難しいと思う。

議員 山村交流いぶき館の来館状況は。
村長 29年度来館状況は、一昨年の5割程度の1953名で、7月の発災以降9月までは皆無であった。

いぶき館を教育施設として検討できないか
——村長 ふるさと村の役員会で話をしている

村長 教育委員会並びに図書館として整備できないか、ふるさと村の役員会の中で話をしている。

災害復旧工事における入札状況
議員 災害復旧工事入札において、不落や入札辞退が出ているが要因は。
村長 村内の業者を最優先に工事発注をしているが、村内の業者もすでに能力いっぱい工事を受けているのが要因と思う。



山村文化交流の郷いぶき館

第4回臨時会(5月)議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

区分	審議結果	議案一覧									
		伊藤均	大蔵久徳	長澤貞義	高倉寛視	高橋弘展	泉守	黒川隆康	梶原光春	梶原伯夫	
条例	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意	○	○	●	●	○	○	○	○	○	※

※当事者のため退席

第5回定例会(6月)議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

区分	審議結果	議案一覧									
		伊藤均	大蔵久徳	長澤貞義	高倉寛視	高橋弘展	泉守	黒川隆康	梶原光春	梶原伯夫	
補正予算	可決	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○
	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
規則	可決	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○
その他	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議事録はホームページでチェック!

定例会・臨時会の議事録はホームページで確認いただけます。

- ・パソコンの場合は東峰村ホームページ【<http://vill.toho-info.com/>】へアクセスし、「村議会」ページを開き、右メニューの「議事録・採決一覧」からご覧ください。
- ・スマートフォンの場合は右のQRコードを読み取ってアクセスしてください。





大蔵久徳 議員

村発注の災害工事の進捗状況は

— 村長 約32%の工事を発注している状況

議員 12月の定例会で可決した8か所の地がけ事業が繰り越した理由は。

災害対策室長 測量、現地のポイント調査、設計を経て工事発注となる。8月を目途に工事発注できるよう進めている。

議員 公共災害(道路・河川・橋梁)で査定を外れた60箇所の対応は。

村長 ※単独災害等は10月に県へ申請する準備を行っている段階。

議員 田んぼに行くための橋が落ちて、今後の対応は。

村長 個人で架けたものでも、できるだけ災害前の状況に戻していきたい。

議員 宅地裏の危険個所で、治山事業等にかからない20数か



田んぼに行くための橋

所は村工事が、補助金対応か。
村長 裏山等の復旧工事は、村ではなく里山生活空間保全・地域防災事業補助金や小規模治山事業補助金を使って該当者にしていただく。

※地がけ事業 人家2戸以上に影響を及ぼす、比較的小規模な崩れを対象に、防止工事を行う事業。
※単独災害 国県補助金によらない、村単独で行う災害復旧事業。



黒川隆康 議員

西鉄とJRバスの時間調整は出来ないのか

— 村長 どちらかを合わせる形で取り組みたい

議員 現在、高校生が通学にバスを利用しているが、小石原発の西鉄バスがわずか7、8分遅いためJRバスを利用できない。そのため、小石原から大行司まで保護者の方々が送ってきている。負担を軽くするためにも時間の調整は出来ないのか。

村長 7、8分の差であればどちらかを合わせる形で取り組みたい。

企画政策課長 指摘を受け確認したところ、その他の部分においても調整が取れていないためJRと西鉄に要望した。JRについては日田から先の連携もあり難しいとのことなので、西鉄の方の調整で、早朝の時間については話を進めている。



JR代行バスの乗車(大行司)

議員 高齢化が進む中、大きな課題であると思うが、住民が利用しやすいように、他の時間帯についても調整の要望をしていただきたい。

村長 JRができないのであれば西鉄の方に、直接交渉し改善等を図ってきたい。



高橋弘展 議員

公共施設計画の個別計画は立てられているか

— 村長 平成32年度までに個別計画の整理等をしていく

議員 個別施設の検討をどのように行っていくのか。住民参加の考えは。

村長 住民を巻き込むことも考えられる。もう少し時間をいただき、公共施設のスクラップ・アンド・ビルド(解体後の新設)を協議する。

議員 旧宝珠山小学校校舎活用について現時点の考えは。

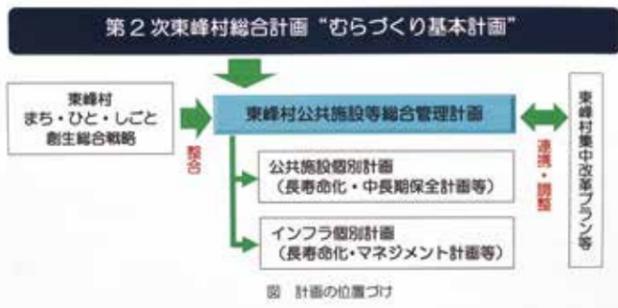
村長 できれば企業誘致等を図りながら活用方法を考える。

議員 合併後15年が経過しようとしているが、庁舎統合の考えは。
村長 当然行政の効率化から考えるとやらなければならない。非常に大きな問題なので、村民や議員との問題解決の場を今後作っていかねばならない。時期につ

いての言及は難しい。

※公共施設等総合管理計画

公共施設等の全体状況を把握し、更新、統廃合、長寿命化等を計画的に行う。そのことで次世代への負担を残さない持続可能なまちづくりを目指すために、公共施設等の最適な配置を実現する。



公共施設等総合管理計画※

議員 JR日田彦山線復旧対策会議は毎月行われているのか。また復旧の見通しは。

村長 1回目は今年の4月に行われ、2回目が7月に開催の見込み。今後は2か月に1回の予定。国会にて鉄道軌道整備法改正案が可決され、一歩も二歩も前に進むのではないかと。

議員 地元住民を会議に参加できないか。また、上下分離方式への対応は。

村長 副村長及び課長級という事とメディアへの公開をJR側が避けている状態。上下分離方式については青柳社長に抗議していきたい。

災害復旧事業について

議員 鳥獣害防護柵の補修の時



岩屋駅前被災状況

期は。また、流された岩屋駅前橋の発注時期は。
災害対策室長 実施設計が終わり次第発注していく。岩屋駅前橋は詳細設計が終わり次第、年内発注予定。使用開始は一年以上かかる見込み。

※鉄道軌道整備法改正案 黒字の鉄道会社にも、災害復旧に対する国の補助を適用するもの。
※上下分離方式 上部にあたる運行等を鉄道会社が行い、線路や車両等の維持管理を自治体が行うもの。



梶原 伯夫 議員

国・県道及び村道の整備管理状況は

— 建設水道課長 国県道は県、村道は村が行う

議員 側溝のゴミや道路端の草木は取り除けないか。
建設水道課長 国県道は県土パトロールが行っているが緊急性のある所は知らせてほしい。村道には村民の声に適切に対応している。

村長 地域協働の村づくり基金事業を活用し、美しい村の景観づくりに寄与していただきたい。

スクールバスの運行について

議員 スクールバスの運行経路はどうやって決めているか。

教育長 毎年3月にスクールバス運営委員会で決めている。基本的には国道211号、県道52号の主要道を通る。

議員 国道から東峰学園へ渡る川曲橋は危険ではないか。拡張、人道橋等は出来ないか。



村道を覆う草木

建設水道課長 通学路であり重要な橋と理解している。現状を踏まえて検討する。

議員 宝珠山地区は小石原地区に比べてバス停が遠いのでは。粟林地区にはなぜ行かないのか。

教育長 宝珠山地区は昔から歩かせようとしている。しかし安全面等と色々な事件等があったので今後協議していく。



長澤 貞義 議員

子供達の遊具施設を設置できないか

— 村長 以前の施設はケガ等を考慮して撤去した

議員 小石原地区住民協議会の中で、子供の遊具施設を設置できないかという質問があった。朝倉市や筑前町には新しく立派な遊具施設があるのに、小石原地区にはない状態だが、村長の考えは。
村長 問題なのは遊具の管理。ケガ等を考えて回転式遊具やブランコ等の動く遊具は撤去した。流木を組み合わせた遊具等安全で将来管理がいらぬ物を考えている。

議員 遊具施設は、子供が自分で危険を察知する体験・経験をし、子供の発育・発達・成長を促す場所ではないか。
村長 どういう具合に設置するのか、事故が起きないような形で今後考えていきたい。



朝倉市甘木の遊具施設(28年度完成)

ゲストハウス建設について

議員 ゲストハウスは誰が運営するのか決まらないうちに進めないのではないか。

村長 柵田保全委員会を中心として、2年間コーディネーターを付けて法人組織に移行していきたい。



高倉 寛視 議員

ゲストハウスの運営は大丈夫か

— 村長 竹地区の方達等と一緒に計画

議員 ゲストハウス事業は設計段階に入っているが、将来的に運営は大丈夫なのか。今まで箱物行政は成功した例は、少ないと思うが。

村長 失敗にならないように、竹地区の方と話をし、柵田保全委員会を母体に法人を立ち上げて運営していく。コーディネーター、地域おこし協力隊等の力を借りて、一緒に行う計画である。

議員 竹地区は柵田百選にも選ばれており、良い景観だとは思いますが、今の道路状況を考えると、観光客の方は車で来られるので、車で行きやすい所に作るべきではないのか。



ゲストハウス予定地

村長 34年度には柵田交流館まで整備される予定。いろんな状況もあると思うが、赤字を出さないための仕組みづくりをやっていないと、赤字になることも想定される。危機感を持ちながら、この事業を進めていくためにソフト事業の予算を計上し、現時点で絵が描けている。

九州北部豪雨災害犠牲者追悼式に参列

7月5日、平成29年九州北部豪雨災害犠牲者追悼式が、いずみ館において行われました。小川県知事をはじめ、多くの来賓のご参列をいただきとともに、村民の方もご参列をされ、亡くなられた方のご冥福をお祈りしました。

昨年7月5日、私たちの東峰村は今まで経験したことのない未曾有の大水害に見舞われ、3名の尊い命が失われ、2名の方が怪我を負われました。二度とこのような災害が起きないことを願うとともに、復興に向けて村民皆で歩みを進めていくことを誓いました。



議事録もウォッチ!!

議会ホームページから年4回の定例会及び臨時会の議事録を閲覧することができます。

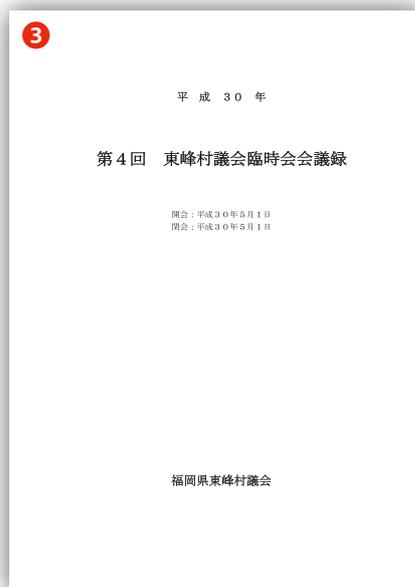


東峰村ホームページ【<http://vill.toho-info.com/>】へアクセスし、「村議会」ページを開き、右側のメニュー

- ① 「議事録・採決一覧」をクリック→
- ② 議事録を選ぶ→
「関連ダウンロードファイル」のリンクをクリック→
- ③ ファイルがダウンロードされ開きます。

【スマートフォンの場合】

下のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



※議事録の公開はチェックを行うため、定例会後1ヶ月程度で公開しております。

編集後記

災害から一年が経ちました。復旧・復興が少しずつですが前に進んできており、以前の暮らしに戻れている方や、まだ再建途中の方もおられるなど様々です。

広報委員会では復旧・復興の現状と経過を議会だよりにてお伝えしながら、村民の皆さまの暮らしの変化についても出来る限り取り上げていきたいと思えます。

改選後、委員会メンバーも変わり、より議会ウォッチをわかりやすく、見やすく作ってまいります。

発行責任者	議事録編集者	議会広報特別委員
佐々木 紀嘉	梶原 伯夫 梶原 光春 高倉 寛視	高橋 弘展 長澤 貞義 高橋 弘展